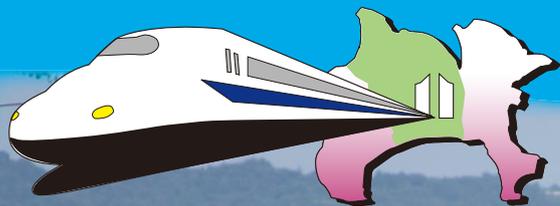


新幹線 新駅を

寒川町倉見に!



▶ 東海道・山陽新幹線から
300系が来春引退!

平成4年3月より「のぞみ」の初代車両として活躍した300系は、東海道新幹線の従来の最高速度より50 km/h 速い270 km/h で、東京～新大阪間を従来の所要時間から19分短縮する2時間30分での運転を実現し、大幅な時間短縮を達成しました。

東海道・山陽新幹線の16両編成が後継車両の700系・N700系に統一されることで、より一層の省エネルギー化が図られます。

リニア中央新幹線 開業に向けて前進!

JR東海は、平成23年11月21日に行われた、中間駅の建設が予定される沿線6県との会合において、リニア中央新幹線の中間駅の建設費負担について、地元負担を求める従来の方針を転換し、**全額自己負担**すると発表しました。これにより、大きな課題が解決され、中央新幹線の早期実現に向けて大きく前進することとなります。

リニア中央新幹線が実現すると、「のぞみ」の機能が中央新幹線に移り、東海道新幹線の列車ダイヤに余裕が生まれるため、東海道新幹線は「ひかり」「こだま」中心のダイヤとなることが期待されます。ダイヤに余裕が生まれると、新駅設置により、速度低下・本数減が生じてしまうという課題が解消され、新駅設置の可能性が高まります。

→ 東海道新幹線新駅の可能性が高まっています

神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会

神奈川県、相模原市、平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、厚木市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、寒川町、県市長会、県町村会、県商工会議所連合会、県商工会連合会

リニア中央新幹線の進捗状況

リニア中央新幹線は、平成23年5月27日に国土交通大臣がJR東海に対して建設を指示するなど、開業に向けて動き出しています。現在は、環境影響評価に関する手続きが進められています。

- 平成23年5月12日 交通政策審議会が国土交通大臣へ答申
- 5月20日 国土交通大臣が営業主体・建設主体としてJR東海を指名
- 5月26日 国土交通大臣が整備計画を決定
- 5月27日 国土交通大臣がJR東海に対して建設を指示

環境影響評価に関する手続き

計画段階環境配慮書 (6月7日)

環境影響評価方法書 (9月27日公告)

準備書

評価書

工事実施計画の作成

平成26年(予定)着工

開業

平成39年(予定)東京～名古屋間
平成57年(予定)名古屋～大阪間



現在は、環境影響評価方法書に対する意見の募集が終了し、意見の概要が関係自治体の長に送付されました。また、12月からは現地調査が開始され、環境影響評価に関する手続きが進められています。

環境影響評価(環境アセスメント)制度とは

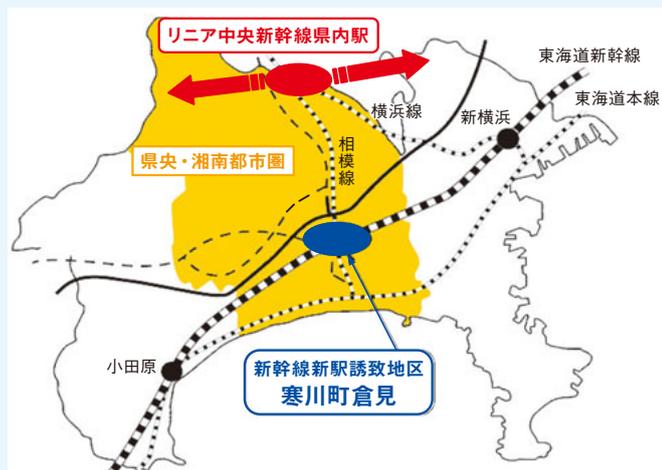
開発事業の内容を決めるにあたって、それが環境にどのような影響を及ぼすかについて、事業者自らが調査・予測・評価を行い、その結果を公表して住民、地方公共団体などから意見を聴き、それらを踏まえて、環境保全の観点からより良い事業計画を作り上げていこうという制度です。

「神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会」は、県土の均衡ある発展、また、県央・湘南都市圏のさらなる魅力を高めるため、寒川町倉見地区への新幹線新駅の誘致に取り組んでいます。

新駅の実現により、この地域が主要な交通結節点として全国や首都圏との交流連携の窓口となることで、県民や企業の皆さんの利便性が向上し、地域のさらなる発展が期待されます。

同盟会では、平成23年11月29日にJR東海、関係省庁および県内選出国會議員に対し、新駅設置の要望活動を行いました。また、周辺地区における都市形成が重要であることから、新駅の受け皿となる「ツインシティ」のまちづくりについて、現在、当面の目標である都市計画決定を目指し、取り組んでいます。

中央新幹線の建設が着々と進んでおり、東海道新幹線新駅設置の可能性も高まってきていますので、引き続き、JR東海に対して新駅設置の働きかけをしていくとともに、「ツインシティ」の魅力あるまちづくりを進めていきます！



お問い合わせ先：神奈川県 県土整備局 環境共生都市部 環境共生都市整備課

電話045-210-6038 FAX045-210-8879 E-mail(下記ホームページの「問合せ先」をクリックして「問い合わせフォーム」をご利用ください)

詳細については、期成同盟会のホームページをご覧ください。

新幹線新駅同盟会

検索